

りらく

大人の文化祭

作品募集中

作品をお寄せください
詩 俳句 短歌 川柳
エッセイ (1,000文字以内)
写真 イラスト 絵・・・
※未発表作品にかぎりませ
読んだ人、見た人がほっと
リラックスでき、元気になるような
作品をお待ちしております。

作品はデータをメールでお送りください
詩 俳句 短歌 川柳につきましては
ハガキ、封書、FAXでも受け付けます
不明な点は編集部までお問合せください
応募者多数の場合は審査させていただきます
ことでもあります
(掲載の可否を事前にお知らせすることはできません)



【佐藤勝彦・直子 (なおかつフォトエッセイ)】

稲の花

撮影場所：名取市高館 撮影時期：平成 27 年 8 月

一斉に なびくコスモス 風の道

【鈴木久子】

八千草の 花よりほかに 恋しらず

【佐佐木脩】

いざゆかん 秋の七草 野に愛でに

【阿部澄江】

夏の夜に 仄かな香り いざなりて

【絵心】

長雨の 睡魔消し去る 甲子園

【南 雅子】

百日紅 赤く燃えてる 寺の庭

【櫻中順子】

おせんたく

【ほうき星☆】

洗濯機がまわっている
ぐるぐる ぐるぐる まわっている

白いシャツと赤いシャツ
仲良くぐるぐる

黒いくつした茶色のくつした
はなればなれにぐるぐるぐる

冷たい水でもへいきなの
じゃばじゃばじゃば

ぶるつとぶるぶるピーピー言って
青空そのままそこにいて

みんななかよくゆらゆら

応募の際は、お名前 ご住所 お電話番号 年齢 を明記してください
誌上でのペンネーム使用可

※絵画、写真作品には、タイトル、使用画材、撮影場所、撮影時期等を明記してください

りらく
大人の
文化祭



【齋藤吉信】

田んぼでニャーニャー
角田市北部の水田に、「ウミネコ」が飛来しています。
1枚の田に100羽程の群れが!!!
撮影場所：角田市岡 撮影日：5月17日



【齋藤和榮】

色鉛筆画（背景：パステル）
モモちゃん



【渡邊 誠】

切り絵：夏の思い出「至仏山&尾瀬ヶ原」



【土屋始彦】

青い水道管のある川



【本宿員三】

「俺達仲間だぜ〜」
「う〜ん〜そうだ〜ネエ」

【関戸美起子座】

畦道を モンローウォークで 散歩する
ころころ「コロ」の 柴犬と我

【桜子】

母戻り 嬉しい顔の 老いた父
声に笑顔に 輝き放つ

【森下博史】

怪獣を 憎んでいない ウルトラマン
目と目が合うと 頷きあつてる

【宮戸☆お達者クラブの皆さん】

（7月・8月の作品）

朝目覚め 両手を挙げて 百歳を
増やすなら いのちの笑顔 しわですよ
ハーモニカ 童謡吹いて 若返り
物豊か 心貧しい 世は嫌い
お達者で 歌に踊りと にぎやかに
受けた恩 いついつまでも 忘れずに
育てた孫 晴れの門出に うれし泣き
空澄み 緑も豊か 雨上がり
雨上がり 今朝もにぎやか 草刈り機
嵯峨溪めぐり 鷗とさわぐ 帰り船

【渡辺 進】

私のおじいちゃん

【じいちゃん子】

私の祖父は、とてもやんちゃな人でした。
祖父は立派な人でしたが、祖父のやんちゃが原因で、大きな土地も家も失ったそうです。
祖母は、あの当時では珍しく駆け落ちで結婚しました。祖父が祖母を愛していることは、子供にも感じていました。祖母が入院した時の事、病院から「おばあさんは良いけれど、おじいさんを連れて帰ってください！」と電話がきて、母が困っていました。
祖父は、祖母が心配で、病院に泊まり込んで祖母の世話をしていました。「この薬はなんだ！この注射はなんだ！」と、大人以上に、1つ1つ看護婦さんに聞くなどしていたようです。父が迎えに行っても、祖母が亡くなるまで祖父は病院から戻りませんでした。祖母が亡くなって1年もたたずに、追いかけるように祖父は病気で亡くなりました。

応募宛先

<メール>info@riraku-sendai.co.jp <FAX>022-266-9418

<郵送>〒980-0811 仙台市青葉区一番町 2-5-22 りらく編集部 りらく大人の文化祭 作品募集係

問合せは／ りらく編集部 TEL.022-723-5781 E-mail: info@riraku-sendai.co.jp